



ベトナム第一工場

新たな進出先としてベトナムを選びました。ベトナムは親日的で、地理的にもアジアの中心であり、税金面などでの優遇

措置がありました。インフラ面は、工業団地であったので、若干電力は不足していますが、特に問題はありません。ベトナムの工場には、社長、部長、技術指導者の3人の日本人以外は、ベトナム人であり、現在870人の正社員がいます。工場が完成するまで、日本語を話し、製造経験があるベトナム人を先に雇用し、日本の滋賀工場で1年間研修を行いました。立ち上げ当初は、10人程の日本人と帰国した研修生が主となり工場の生産を軌道に乗せました。

離職率は、日本に比べると高く、特に就労1年未満の人が多いためです。同じ工業団地で高い給料の企業があれば転職するのはよくあることです。しかし、わが社は福利厚生の良さにより離職率は低いと思います。おいしい昼食を無料で提供し社員に好評になるように伝えています。

精密な油圧部品事業を拡大するため、1990年にアメリカに、2003年にベトナムのホーチミン近郊のビンズン省の工業団地に工場を設立しました。アジアでの生産工場設立は、2001年頃から検討をしていました。ベトナム以外の国で設立をほぼ決定していましたが、国策と国民性と独自技術漏洩の懸念から断念し、

現在、ベトナム工場で生産した製品の多くは、日本とアメリカの工場に移し、完成品にして販売しています。今後は、ベトナム工場での完成品化を進め、直接アジア・ヨーロッパ市場へ供給していきたいと考えています。日本の工場は、マザー工場として新しい自社製品の開発と国際競争で勝てる独自工法を開発し、各工場へ展開していく役割を担い、ベトナムの工場が70%を生産する主力工場となります。ベトナム工場の社員にはグループの最大で最強の工場

親日的国民性とアジア市場でのロケーションに惹かれて

アジアビジネスを
レポート!

京都 ~~クロス~~ Asia

京都からアジアに進出し活躍する企業と、アジアビジネス相談デスクアドバイザーからアジア各国を紹介します。

今回は・・・

ベトナム進出企業 REPORT

株式会社タカコ
代表取締役社長 皆見 良孝



所在地：京都府相楽郡精華町祝園西1丁目32-1
TEL：0774-95-3336
Web <http://www.takako-inc.com/>
事業内容：油圧機器・精密部品などの製造・販売

ベトナム工場を拠点に アジア・ヨーロッパ市場へ

慰安旅行も行っています。慰安旅行ではバス20台ほどの旅となります。

私が紹介!



●アジアビジネス相談デスクアドバイザー●

日越ビジネスサポート株式会社
取締役 吉成 友

ベトナム市場の今

ベトナムは人口が約9千万人、国民の平均年齢が27歳、都市圏の一人当たりのGDPは2千ドルを超え、発展途上国から中進国へ移り変わっています。順調な経済成長により消費意欲が高く、昨年、イオンやミニストップ、高島屋などの

大手日系流通企業のベトナム進出が相次ぎ、第一生命や公文、ファミリーマートなど、近年ベトナムに進出した企業も成功を収めつつあります。韓国、シンガポールなどアジア系の企業や欧米企業の参入も相次ぎ、競争も激化していますが、品質のいい日本の商品やサービスへの信頼は高いです。また、今後発展していく郊外や地方都市への展開の余地が大きく残されており、ベトナム市場の注目は一層高まってくるでしょう。私どもは、ベトナムでの法人設立・現地情報提供・市場調査・パートナー探しなどについてお手伝いいたします。

アジアビジネス相談デスク 専門アドバイザーによる個別相談室です。お気軽にご利用ください。

お申込み・お問合せ 京都商工会議所 アジアビジネス相談デスク(産業振興部内)
TEL 075-212-6442 URL://www.kyo.or.jp/management/asiabusiness.html